

坂本 和一教授 略歴・主要研究業績

略 歴

1939年10月31日 石川県に生まれる。

(学歴)

1963年 3月 京都大学経済学部卒業
 1965年 3月 京都大学大学院経済学研究科修士課程終了
 1968年 3月 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得
 1975年 9月 経済学博士（京都大学）

(職歴)

1968年 4月 立命館大学経済学部専任講師
 1969年 9月 立命館大学経済学部助教授
 1978年 4月 立命館大学経済学部教授
 1979年 7月 ハーバード大学フェアバンク東アジア研究センター客員研究員およびニューヨーク大学経済学部客員研究員（～1980年9月）
 1988年 4月 立命館大学教学部長（～1991年3月）
 1990年 4月 学校法人立命館常務理事（教学担当）（～1991年3月）
 1994年 4月 学校法人立命館副総長・立命館大学副学長
 2000年 1月 学校法人立命館副総長・立命館アジア太平洋大学学長
 2004年 4月 学校法人立命館副総長・立命館大学副学長
 2005年 3月 立命館大学定年退職
 2005年 4月 立命館大学特任教授・大学評価委員会委員長・大学評価室長，現在に至る。

(受賞歴)

1987年 3月 第2回テレコム社会科学賞（対象業績『IBM—経営戦略と組織改革』ミネルヴァ書房，1985年）
 2004年11月 平成16年度大分合同新聞文化賞特別賞

主要研究業績

(著書)

1974年 8月 『現代巨大企業の生産過程』有斐閣（博士学位論文）
 1976年11月 『現代資本主義の生産様式』青木書店

- 1978年9月 『現代巨大企業と独占』 青木書店
 1983年9月 『現代巨大企業の構造理論』 青木書店
 1984年3月 『新経済学の基礎』（共編著）有斐閣
 1985年4月 『技術革新と企業構造』（編著）ミネルヴァ書房
 1985年11月 『IBM—経営戦略と組織改革』 ミネルヴァ書房（第2回テレコム社会科学賞受賞）
 1987年9月 『現代日本の企業グループ』（編著）東洋経済新報社
 1988年4月 『現代工業経済論』 有斐閣
 1989年4月 『GEの組織革新』 法律文化社
 1991年6月 『21世紀システム—資本主義の新段階』 東洋経済新報社
 1992年11月 『コンピュータ産業—ガリヴァ支配の終焉』 有斐閣
 1994年4月 『新しい企業組織モデルを求めて』 晃洋書房
 1997年10月 『新版GEの組織革新』 法律文化社
 1998年4月 『アジア太平洋のエポック』（編著）法律文化社
 2003年9月 『アジア太平洋時代の創造』 法律文化社
 2004年12月 『鉄はいかにしてつくられてきたか』 法律文化社
 2004年12月 *The Challenges facing Ritsumeikan Asia Pacific University*, Daichi-sha

（論文）

- 1966年4月 「独占成立期における工場制度の発展」『経済論叢』第97巻第4号，41-61ページ
 1967年2月 「イギリス産業革命期における製鉄業技術の発展段階」『経済論叢』第99巻第2号，33-50ページ
 1967年8月 「製鉄業における機械体系の確立過程」『経済論叢』第100巻第2号，65-84ページ
 1968年7月 「鍊鉄時代におけるイギリス製鉄業の生産構造」『土地制度史学』第39号，50-67ページ
 1968年11月 「19世紀中葉における資本の直接的生産過程」『経済論叢』第102巻第5号，96-123ページ
 1969年8月 「研究ノート・独占段階成立期の資本制的労働過程…鉄鋼業の場合」『立命館経済学』第18巻第2・3号，93-141ページ
 1970年4月 「独占段階の独自の・資本制的生産様式」『立命館経済学』第19巻第1号，1-51ページ
 1970年8月 「独占段階の独自の・資本制的生産様式と資本蓄積過程」『立命館経済学』第19巻第3号，3-73ページ
 1970年12月 「独占段階の独自の・資本制的生産様式の形成—八幡製鉄所を事例とする具体的分析(1)」『立命館経済学』第19巻第5号，3-70ページ
 1971年4月 「独占段階の独自の・資本制的生産様式の形成—八幡製鉄所を事例とする具体

- 的分析(2)『立命館経済学』第20巻第1号, 67-138ページ
- 1971年6月 「独占利潤論の論理構成」『立命館経済学』第20巻第2号, 1-71ページ
- 1971年8月 「独占段階の独自の・資本制的生産様式の形成—八幡製鉄所を事例とする具体的分析(3)」『立命館経済学』第20巻第3号, 90-169ページ
- 1971年10月 「製鉄工場」堀江英一編『イギリス工場制度の成立』第2章, 71-143ページ
- 1971年10月 「独占段階の独自の・資本制的生産様式の形成—八幡製鉄所を事例とする具体的分析(4)」『立命館経済学』第20巻第4号, 39-95ページ
- 1972年2月 「現代巨大企業における社会的労働過程のプロセス構造」『立命館経済学』第20巻第5・6号, 41-105ページ
- 1972年10月 「研究ノート・『資本論』における産業資本の直接的生産過程」『立命館経済学』第21巻第3・4号, 93-145ページ
- 1973年10月 「現代巨大生産単位における労働者の存在構造—現在の日本の鉄鋼一貫製鉄所の場合」『立命館経済学』第22巻第4号, 186-223ページ
- 1974年5月 「相対的過剰価値の生産—解説」『経済』1974年5月号
- 1974年4月 「現代巨大生産単位の生産方式—現代の大量生産方式について」『立命館経済学』第23巻第1号, 36-101ページ
- 1974年10月 「現代巨大企業の生産機構」『立命館経済学』第23巻第4号, 45-96ページ
- 1975年6月 「戦後日本資本主義と『技術革新』」『科学と思想』No. 17, 63-88ページ
- 1975年8月 「巨大企業分析と『生産の集積』概念の展開」『立命館経済学』第24巻3号, 1-34ページ
- 1976年7月 「『堀江英一著作集・第4巻 産業資本主義の構造理論』—解説」『堀江英一著作集』青木書店, 第4巻, 303-316ページ
- 1977年7月 「生産の社会化の諸段階—『資本論』第4編第11~13章における論理と歴史」『資本論を学ぶ(Ⅱ)』有斐閣, 第8章, 112-125ページ
- 1977年12月 「戦後工業の発展」塩沢君夫・後藤靖編『日本経済史』有斐閣, 第9章第Ⅲ節, 499-512ページ
- 1978年4月 「現代企業の生産機構」谷田庄三・前川恭一編『講座・経営経済学』ミネルヴァ書房, 第1巻「現代企業の基礎理論」第1章, 30-58ページ
- 1978年6月 「読書ノート・中村清治著『技術論入門』(有斐閣)」『現代と思想』No. 32, 144-151ページ
- 1979年2月 「研究ノート・現代資本主義の生産力発展段階」『立命館経済学』第27巻第6号, 121-131ページ
- 1979年3月 「現代企業グループ論の展開方向」『現代と思想』No. 35, 202-217ページ
- 1979年4月 「資料・現代アメリカ鉄鋼業の生産構造」『立命館経済学』第28巻第1号, 77-139ページ
- 1979年12月 「解説・『資本論』第1巻第11~13章」『解説資本論(1)』有斐閣新書, 164-205ページ
- 1981年2月 「戦後アメリカ巨大企業の組織変革—マトリックス組織の形成とその意義」『立

- 命館経済学』第29巻第6号, 1-74ページ
- 1981年4月 「書評・戸木田嘉久ほか著『巨大工場と労働者階級』(新日本出版社)』『経済』
1981年4月号
- 1981年6月 「アメリカ巨大企業 GE 社の組織変革(1)』『立命館経済学』第30巻第2号, 1-94
ページ
- 1981年12月 「マルクス経済学における企業論の具体化」『立命館経済学』第30巻第3・4・
5号, 191-224ページ
- 1982年4月 「アメリカ巨大企業 GE 社の組織変革(2)』『立命館経済学』第31巻第1号, 23-
80ページ
- 1982年6月 「アメリカ巨大企業 GE 社の組織変革(3・完)』『立命館経済学』第31巻第2
号, 28-64ページ
- 1982年10月 「IBM 社の組織変革(1)』『立命館経済学』第31巻第4号, 60-97ページ
- 1983年2月 「IBM 社の組織変革(2)』『立命館経済学』第31巻第5・6号, 39-80ページ
- 1983年6月 「IBM 社の組織変革(3)』『立命館経済学』第32巻第2号, 45-90ページ
- 1983年10月 「IBM 社の組織変革(4)』『立命館経済学』第32巻第4号, 26-49ページ
- 1984年2月 「IBM 社の組織変革(5)』『立命館経済学』第32巻第5・6号, 51-93ページ
- 1984年4月 「IBM 社の組織変革(6)』『立命館経済学』第33巻第1号, 18-59ページ
- 1984年6月 「IBM 社の組織変革(7)』『立命館経済学』第33巻第2号, 32-93ページ
- 1984年10月 「IBM 社の組織変革(8)』『立命館経済学』第33巻第4号, 52-116ページ
- 1984年12月 「IBM 社の組織変革」『運輸と経済』第44巻第9号, 23-31ページ
- 1984年12月 「京都企業の組織改革—立石電気のケース・スタディ」『立命館大学人文科学研究
所紀要38・京都工業をめぐる諸問題』251-286ページ
- 1985年4月 「IBM 社の組織変革(9・完)』『立命館経済学』第34巻第1号, 23-63ページ
- 1985年10月 「現代日本の企業構造改革」大藪輝雄ほか編『現代日本の資本主義』有斐閣,
第2章, 43-82ページ
- 1986年2月 「現代の『技術革新』とその歴史的的位置」『立命館経済学』第34巻第6号, 81-
120ページ
- 1986年6月 「現代日本企業の所有と支配」『経済理論学会年報・第23集』青木書店, 42-65
ページ
- 1986年12月 「IBM におけるグローバリゼーションの構造」一橋大学産業経営研究所『ビジ
ネス・レビュー』Vol. 34, No. 2, 38-53ページ
- 1988年5月 「日本企業のグローバリゼーション」磯村尚徳・立命館大学人文科学研究所編
『世界の中の日本—日本に期待されるもの』法律文化社, 75-102ページ
- 1988年9月 「情報化と産業構造の新しい見方」立命館大学『一般教育研究』別冊, 22-37ペ
ージ
- 1989年10月 「世界システムと生産システム」『立命館経済学』第37巻第3号, 41-83ページ
- 1989年11月 「現代の技術革新と『国際独占(寡占)資本主義』の段階」田村悦一ほか編
『岐路に立つ国際秩序』法律文化社, 第11章, 229-250ページ

- 1990-1991年 Enterprise Groups in Contemporary Japan, *Japanese Economic Studies*, Vol. 19, No. 2
- 1991年 8月 「コンピュータ産業の形成—世界コンピュータ産業史Ⅰ」『立命館経済学』第40巻第3号, 1-51ページ
- 1991年10月 「IC時代のコンピュータ産業—世界コンピュータ産業史Ⅱ」『立命館経済学』第40巻第4号, 44-84ページ
- 1991年12月 「LSI時代のコンピュータ産業—世界コンピュータ産業史Ⅲ」『立命館経済学』第40巻第5号, 24-77ページ
- 1992年 3月 「ポスト・パクス・アメリカナと生産システムの変革」関寛治ほか編『地球化時代の日米関係』日本評論社, 263-292ページ
- 1992年 4月 「コース/ウィリアムソン型企業組織モデルの検討」『立命館経済学』第41巻第1号, 23-63ページ
- 1992年 6月 「超LSI時代のコンピュータ産業—世界コンピュータ産業史Ⅳ」『立命館経済学』第41巻第2号, 2-35ページ
- 1992年12月 「『協調ゲーム論』企業組織モデル(青木モデル)の検討」『立命館経済学』第41巻第5号, 13-51ページ
- 1993年 6月 「『組織的知識創造型』企業組織モデル(野中モデル)の検討」『立命館経済学』第42巻第2号, 1-31ページ
- 1993年 6月 「地球環境問題と企業組織」『環境研究』第90号, 58-67ページ
- 1994年 3月 「湖南産業立地の国際化」立命館大学人文科学研究所編『琵琶湖地域の総合的研究』文理閣, 第2章, 219-232ページ
- 1994年 6月 「日本企業は組織的成長をいかに管理するか—企業グループの日米比較」『立命館産業社会論集』第30巻第1号, 13-32ページ
- 1995年 6月 「『21世紀システム』と生産システム」『立命館経済学』第44巻第2号, 1-23ページ
- 1995年12月 「『21世紀システム』論とレギュレーション・アプローチ」『立命館経済学』第44巻第4・5号, 42-55ページ
- 1998年 4月 「『アジア太平洋学』の可能性」立命館アジア太平洋研究センター編『アジア太平洋のエポック』法律文化社, 3-25ページ
- 1998年 8月 New Dimension of the Asia-Pacific Studies, *Ritsumeikan Journal of Asia Pacific Studies*, No. 1, August 1998, pp. 4-18.
- 1999年 3月 Restructuring Japanese Universities — the Experience of Ritsumeikan University, *Ritsumeikan Journal of Asia Pacific Studies*, No. 3, May 1999, pp. 162-170.
- 2001年 4月 Creating a New Style of Asia Pacific Studies, *Ritsumeikan Journal of Asia Pacific Studies*, No. 7, April 2001, pp. 71-78.
- 2004年 7月 Transitions at the Leading Edge of Civilization, and the Fusion of Asia and Western Civilization in the Asia Pacific, *Ritsumeikan Journal of Asia*

Pacific Studies, Vol. 14, July 2004, pp. 1-13.

(その他)

- 1987年9月 「大学組織のイノベーションのために (講演)」 学校法人立命館『職員研修 (1986年度)』第1号, 1-25ページ
- 1991年11月 「生きた大学自治・教授会自治—私立大学の経営革新と『大学自治・教授会自治』のあり方 (講演)」 日本私立大学連盟『平成3年度財務・人事担当理事者会議報告』54-69ページ
- 1992年11月 「変貌する社会と大学の自己革新 (講演)」 高等教育研究会編『大学は生き残れるか—21世紀への大学改革』機関紙共同出版, 43-73ページ
- 1995年4月 「京都における大学のネットワーク化—京都・大学センター計画 (講演)」 大阪科学技術センター・学術研究都市部会報『Science City Journal』No. 25, 14-27ページ
- 1996年3月 「21世紀の国際化社会と『立命館アジア太平洋大学』の役割 (講演)」 大分経済同友会『同友おおいだ』No. 94, 1996年2・3月号, 33-42ページ
- 1997年7月 「立命館大学における産官学交流の取り組み」 日本学術振興会『学術時報』第50巻第7号, 1997年7月号, 26-31ページ
- 1999年7月 「国際化の実験—立命館アジア太平洋大学」 IDE『現代の高等教育』1999年7月号, 40-45ページ
- 1997年10月 「大学改革の理想 (講演)」『毎日新聞 (西部版)』1997年10月25日朝刊
- 1998年2月 「大学創造と社会的ネットワーク (講演)」『全私学新聞』1998年2月3日
- 1998年3月 「民間との連携による地域振興—産官学連携による地域振興 (講演)」ふるさと財団ライブラリー21『講演集シリーズ8』1998年3月, 4-22ページ
- 2000年1月 「これからの産学連携 (座談会)」 日本学術振興会『学術時報』第53巻第1号, 2000年1月号, 43-69ページ
- 2000年2月 「留学生の概念が変わる大学を創ります (インタビュー)」『外交フォーラム』2000年2月号, 11-12ページ
- 2000年5月 「別府をアジアにおける交流・情報発信の拠点都市に (座談会)」『私学ジャーナル』2000年5月号, 6-19ページ
- 2000年7月 「アジア太平洋の未来と青年の役割 (講演)」『東北財経大学学报』2000年7月号, 11-13ページ
- 2000年7月 「アジア太平洋の未来創造と九州国際化の役割 (講演)」『みやざき経協ニュース』2000年7月号, 27-33ページ
- 2000年7月 「『送り出す国際化』から『迎え入れる国際化』へ (対談)」 日本航空株式会社『カレンツ』2000年7月号, 1-6ページ
- 2000年8月 「グローバルに, ローカルにアジア太平洋の未来を拓く (インタビュー)」九州通商産業局『通産 Kyushu』2000年8月号, 10-13ページ
- 2000年10月 「アジア太平洋の未来創造と九州の国際化が果たす役割 (講演)」『佐賀経済同

- 友』2000年10月号, 35-39ページ
- 2000年10月 「アジア太平洋の未来創造と人材養成 (講演)」『第7回アジア九州地域交流サミット報告集』, 17-25ページ
- 2000年11月 「21世紀を展望した学園の国際化—高等教育機関としての国際化の新段階」『UNITAS』No. 330.
- 2001年1月 「21世紀の新しい大学像をめざして」九州地域産業活性化センター『会報』2001年1月号, 4-8ページ
- 2001年1月 「立命館アジア太平洋大学に坂本和一学長を訪ねて (インタビュー)」九州電気協会『電気と九州』2001年1月号, 4-12ページ
- 2001年1月 「ジャック・ウェルチを読み解く (書評)」『ダイヤモンド・ハーバード・ビジネス』2001年1月号, 111-114ページ
- 2001年3月 「アジア太平洋地域とのネットワークとAPUの役割 (講演)」大分経済同友会『同友おおいだ』Vol. 123, 2001年2・3月号, 34-42ページ
- 2001年3月 Building an International Standard University — Challenges facing Ritsumeikan Asia Pacific University, *Journal of Japanese Trade and Industry*, Vol. 20, No. 2, March/April 2001, pp. 46-49.
- 2001年4月 APU's challenges — Internationalization of Japan's University, *Euro Japanese Journal*, Vol. 7, No. 2, Spring 2001, pp. 42-45.
- 2001年5月 「国際社会に通用する人材の育成を目指して (座談会)」日本私立大学連盟『大学時報』No. 278, 2001年5月号, 16-31ページ
- 2001年5月 「GE ジャック・ウェルチのIT戦略」『月刊産業と経済』2001年5月臨時増刊号, 20-24ページ
- 2001年7月 「私の勉学時代 (インタビュー)」『閑塾タイムズ』2001年7月号, 16-19ページ
- 2001年10月 「アジアの時代到来・育て九州国際派—E. F. ヴォーゲル氏を囲んで (座談会)」『西日本新聞』2001年10月4日朝刊
- 2001年11月 「木下玲子と語る(2)—失敗を恐れずぶつかることから真の交流が始まる (対談)」『外交フォーラム』2001年11月号, 80-85ページ
- 2001年11月 「大学の活性化・留学生が刺激—大分の立命館アジア太平洋大学」『日本経済新聞』2001年11月24日朝刊
- 2002年3月 「国際スタンダードの大学づくりを目指して」『私学経営』2002年3月号, 4-11ページ
- 2002年8月 「ジャック・ウェルチはGEをどう変えたか」『商工ジャーナル』2002年8月号, 30-33ページ
- 2003年4月 「インタビュー」『創造おおいだ』2003年4月号, 10-12ページ
- 2003年4月 「留学生の勉学意欲の高さに日本人学生が圧倒される」朝日新聞社『2004年度版大学ランキング』128-129ページ
- 2003年5月 「(巻頭言・私学論) 日本の大学の国際水準化をめざして」『UNITAS』No. 355.

- 2003年7月 Japan's University Reform amidst International Competition, *Journal of Japanese Trade and Industry*, Vol. 22, No. 4, pp. 28-30.
- 2004年6月 「立命館アジア太平洋大学開学4年目の軌跡」『月刊グローバル経営』2004年6月号, 8-11ページ
- 2004年6月 「日本の高等教育における留学生受入れの促進と課題 (講演)」日本経済調査協会調査報告2004-2 『これからの大学を考える—21世紀知識社会・グローバル化の中で』, 132-150ページ
- 2004年6月 「2005年度入学政策—教学改革と入学政策の連携強化にむけて」『UNITAS』No. 366.
- 2005年1月 「学園の建学の精神を現代化する立命館小学校の概要について」『UNITAS』No. 370.
- 2005年2月 「GEの多角的事業展開」経営史学会編『外国経営史の基礎知識』有斐閣, 98-99ページ
- 2005年5月 「大学評価の時代—国際水準の教育研究の構築をめざして—大学評価室の発足にあたって」『UNITAS』No. 374.